

# Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

## <目 次>

### ・理事会報告

- (1) 常任理事の選任
- (2) 各種委員会体制の承認
- (3) 紀要「特集」の提案について
- (4) 第 17 回大会プログラムの原案について
- (5) 第 16 回大会決算報告
- (6) 各種委員会報告
- (7) その他

### ・日本カリキュラム学会 新組織研究体制

### ・事務局から

## ——<理事会 報告>——

[2005 年 11 月 12 日 (土) 午後 1 時半～5 時 (於) 筑波大学附属学校教育局 (茗荷谷)]

今年度第 1 回目の理事会が 11 月 12 日 (土) 筑波大学附属学校教育局 E233 共同研究室にて開催されました。理事 1 2 名と事務局 1 名、およびオブザーバーとして旧事務局 1 名と紀要編集委員長 1 名が参加し、下記のとおり議題を審議、決定しました。

### (1) 常任理事の選任

代表理事の挨拶に引き続き、会則第 12 条の 3 に基づき、理事の中から常任理事を選出する旨の提案がなされた。事務局原案を審議し、次のとおり決定した：浅沼、安彦、臼井、大澤、柴田、高田、田中、寺西、豊田、長尾、中留、中野、松下、無藤、村川の各理事。

### (2) 各種委員会体制の承認について

前回理事会 (6 月) で未決定であった各種委員会体制について、経緯説明が事務局より報告され、原案通り承認された (後掲)。

### (3) 紀要「特集」の提案について

紀要編集委員長の磯田会員より、紀要第 15 号の編集に関連して、大会の課題研究や研究発表を「特集」として記録する必要がある旨、提案された。議論を経て、現在の彙報とは別に課題研究および公開シンポジウムの内容を司会が簡潔にまとめること、および予算上紀要のページ数に配慮することをそれぞれ確認し、次号第 16 号からの掲載を目指して具体的な検討を紀要編集委員会に依頼することとした。

### (4) 第 17 回大会プログラムの原案について

次回大会校の奈良教育大学より、大会委員長 安藤理事が参加し、資料に基づき、日程ならびに公開シンポジウムについて原案の説明があった。開催日は前回理事会で決したとおり、2006 年 7 月 8 日 (土) 9 日 (日) とした。なお、日程は昨年と同様とした。審議の末、懇親会会場、同会場への交通手段および移動時間等の再検討を大会校に要請することとし、承認された。

2006年 7月7日(金)	17:00～19:00	理事会(夕食を含む)
7月8日(土)	10:00～12:00	課題研究Ⅰ・Ⅱ
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	自由研究発表Ⅰ
	15:10～17:40	公開シンポジウム
	18:00～20:00	懇親会
7月9日(日)	9:30～11:30	自由研究発表Ⅱ
	11:30～12:30	総会・昼食
	12:30～15:00	課題研究Ⅲ・Ⅳ

大会企画案を議論した結果、原案を一部修正し、以下の案で準備を進めること、および、3月の次回理事会で開催校および研究委員会からの修正案を審議し、確定することとした。

#### 1) 公開シンポジウムについて

原案を修正し、テーマを「学校と大学・教育委員会との協働によるカリキュラムづくり」とした。世話人は大会開催校から安藤理事、司会は安藤理事および会員1名に依頼することとした。また、提案者の選任にあたっては、開催校が実施している教員養成GP、地域、学校の実践者、および行政担当者を考慮に入れつつ、引き続き開催校に人選・内諾の確認を依頼した。

#### 2) 課題研究について

小泉研究委員長より従来の経緯について説明があり、検討の結果、下記のとおり決定した。

課題研究Ⅰ(タイトル未定、カリキュラム経営を中心に) 世話人: 中留、小泉各理事

課題研究Ⅱ「カリキュラム研究の基礎を問う その3 —カリキュラム研究にとって知識とは何か—」 世話人: 浅沼、田中各理事、梅原利夫会員

課題研究Ⅲ「学力調査とカリキュラム評価」世話人: 市川理事、田中耕治会員、国研1名

課題研究Ⅳ「カリキュラムは自国史をどのように語っているか」世話人: 中野、山口各理事

#### (5) 第16回大会決算報告

大会事務局長の浅沼理事より第16回大会(於東京学芸大学)の総括、および橋本理事より決算が、それぞれ資料に基づき報告された。決算報告は下記のとおり。

収 入 (円)		支 出 (円)	
大会参加費	931,500	印刷費(プログラム・封筒・要旨集録など)	525,000
大会運営費 (事務局より)	585,000	人件費(発表申し込み作成・発送、プログラム・要旨集録作成・発送、会場準備・運営・事後処理、謝礼)	976,000
広告掲載料	230,000	通信・郵送費	153,520
		大会会場費	26,869
		消耗品・用紙文具代	50,383
		雑費	20,834
小計 ①	1,746,500	小計 ②	1,752,606
懇親会参加費	344,000	懇親会費	360,000
小計 ③	344,000	小計 ④	360,000
要旨集録送経費 (事務局より)	200,000	大会不参加者宛要旨集録 発送業務人件費	35,000
		同上 郵送代	120,130
小計 ⑤	200,000	小計 ⑥	155,130
収入計(①+③+⑤)	2,290,500	支出計(②+④+⑥)	2,267,736

収入計—支出計=2,290,500—2,267,736=22,764 残金22,764円は学会事務局へ返却

## (6) 各種委員会報告

### 1) 紀要編集委員会 報告

磯田委員長より、資料に基づき、下記の報告がなされた。

(1)編集委員会事務局を東京学芸大学橋本研究室に置く。投稿先は次回以降も筑波大学とする。

(2)第15号の編集について

- ・編集委員会規定、学会彙報、刊行スケジュールは従来通りとする。
- ・国際交流関連：国際交流委員会と連携し、シンガポール国立教育学院周恩愛氏に原稿依頼中。原稿は池田充裕会員により翻訳される。次号はオーストラリアを検討中。
- ・図書紹介：事務局より全理事に推薦を呼びかけ、その結果をもとに編集委員会で検討。
- ・投稿論文：全22本。うち、著しい字数超過のあった4本は受理せず。執筆者全員の会員資格および会費納入状況は確認済み。

### 2) 国際交流委員会 報告

中野委員長より、シンガポールに関する原稿執筆状況、および次号でオーストラリアをとりあげる旨、関連して Colin J. Marsh 氏 (Curtin 大学) に原稿依頼を行い快諾された旨、それぞれ報告された。また、今後研究委員会との連携をはかり、理事会の承認を経て学会として科研費申請に向けて検討する可能性について、山口前委員長と協議した経緯が述べられた。

浅沼副委員長より、国際カリキュラム学会 (2006.5、フィンランド) について案内があり、関心のある会員はメール等で連絡して欲しい旨、報告があった。

### 3) 研究委員会 報告

小泉委員長より、委員会活動の推進に関し、前委員長の長尾理事ならびに関係方面と協議しつつ、プロジェクト (科研費申請を含む) に向けて提案を整備する意向が示された。

### 4) 研究奨励賞審査委員会 報告

田中代表理事より、事務局からの問い合わせ・取りまとめを経て、次回3月の理事会までに選考を進める旨、中留副委員長 (磯田委員長中途退席による) に要請があった。

## (7) その他

- 1) 日本学術会議の新体制移行にともない設けられる「日本学術会議協力学術研究団体」制度、および教育学関連学会の連絡協議会に、それぞれ学会として参加・登録する意向を伝えた旨、田中代表理事より報告がなされた。
- 2) 田中代表理事より、2006.4.28 (金) —29 (土) に開催される国際シンポジウム (韓国カリキュラム学会主催) に関し、同学会より事業費申請に向けて課題発表者2名および指定討論者1名を推薦するよう要請があった旨、報告があった。国際交流委員会との協議を経て、課題発表者として安彦前代表理事および田中代表理事、指定討論者として磯田会員を推薦した旨、田中代表理事より報告がなされた。
- 3) 10月31日付で会員数は817名であることが事務局より報告された。関連して、年会費未納者に関する「みなし退会」・再入会、および学生会員等の扱いに関し、理事会で申し合わせる必要性が確認された。原案は事務局で作成し、次回理事会の議題とする予定とした。
- 4) 次回理事会は2006年3月4日 (土) 開催。会場は筑波大学附属学校教育局を予定。

## ——< 日本カリキュラム学会 新組織研究体制 >——

(任期3年、2008年大会の総会まで。◎委員長、○副委員長。※旧委員から留任。五十音順)

- (1) 紀要編集委員会  
◎磯田文雄 (筑波大学) ※  
 臼井嘉一 (福島大学)  
 中留武昭 (西南女学院大学) ※  
 中野和光 (広島大学)  
○橋本美保 (東京学芸大学) ※  
 松下晴彦 (名古屋大学) ※  
 水原克敏 (東北大学)
- (2) 国際交流委員会：台湾、中国、韓国、アメリカ、ヨーロッパなどの研究団体との共同研究、相互交流の企画・組織・運営を行う。  
○浅沼 茂 (東京学芸大学)  
 有本昌弘 (国立教育政策研究所) ※  
 近藤孝弘 (名古屋大学)、※  
 志水宏吉 (大阪大学) ※  
 田中耕治 (京都大学)  
◎中野和光 (広島大学) ※
- (3) 広報委員会：ホームページを作成し、(1)大会プログラムの内容と案内、(2)学会紀要の目次、(3)会報等の情報を公開する。  
 的場正美 (名古屋大学) ※  
◎三尾忠男 (早稲田大学)
- (4) 研究委員会：(1)実践の研究のあり方を研究し、学校現場との協力と実践研究を促進する  
 (2)課題研究のあり方を専門的、集中的に検討するなど、研究の課題を発掘し促進する  
 (3)研究成果をシンポジウムの形で開催する企画・運営・組織を行う  
 新井郁男 (放送大学)  
◎小泉祥一 (東北大学)  
 田中耕治 (京都大学) ※  
○長尾彰夫 (大阪教育大学) ※  
 西川敏之 (徳佐小学校)  
 村川雅弘 (鳴門教育大学) ※  
 山口満 (びわこ成蹊スポーツ大学)
- (5) 日本カリキュラム学会研究奨励賞 審査委員会  
 安彦忠彦 (早稲田大学)  
◎磯田文雄 (筑波大学) ※  
 臼井嘉一 (福島大学)  
 志水宏吉 (大阪大学)  
 田中耕治 (京都大学) ※  
○中留武昭 (西南女学院大学) ※  
 中野和光 (広島大学)  
 橋本美保 (東京学芸大学) ※  
 松下晴彦 (名古屋大学) ※  
 水原克敏 (東北大学)

——< 事務局から >——

(1) 平成 18 年度分 会費納入のお願い

平成 18 年度分の年会費の納入をお願いします。本学会の誇りの一つである高い納入率を維持するためにも、納入促進に会員のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年度学会費未納の方は、宛名ラベルのお名前の下に、未納年度を記載しております。同封の振込用紙をご利用になり、できるだけ速やかに納入してください。

(年会費：一般 6,000 円、学生 3,000 円、団体 10,000 円)

(2) 事務局移転について

早稲田大学教育学部内に設置しておりました事務局は、現在、下記への移転を順次進めております。会員各位からの一般的な問い合わせは、原則として新しい事務局にて対応いたします。事務局機能の完全移転は、2006 年 3 月末日に完了する予定です。この間、何かとご不便をおかけしますが、御理解をたまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

〒305 - 8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1  
筑波大学教育学系内  
**日本カリキュラム学会 事務局**  
TEL & FAX 029-853-6724  
or 029-853-6723  
振替口座番号：00880 - 0 - 69090  
E - mail : [jscs@nifty.com](mailto:jscs@nifty.com)  
URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>

## 日本カリキュラム学会 第17回大会 ご案内

- ・会場：奈良教育大学（〒630-8528 奈良市高畑町）
- ・日時：2006年7月8日（土）9日（日）
  
- ・自由研究発表の申込締切日：2006年4月24日（月）必着
- ・自由研究発表の要旨提出締切日：2006年6月5日（月）必着
- ・大会プログラム発送予定日：2006年5月22日（月）
  
- ・大会事務局専用ホームページ（ブログ形式） <http://blog.goo.ne.jp/naraedu/>

※ホームページをご覧になり、なおご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせ下さい。

安藤輝次研究室(Tel.&Fax.0742-27-9260) andou@nara-edu.ac.jp

松川利広研究室(Tel.&Fax.0742-27-9157) matukawa@nara-edu.ac.jp

小柳和喜雄研究室(Tel.&Fax.0742-27-9295) oyanagi@nara-edu.ac.jp